

つながるころ ちからをあわせ はじけるえがお しあわせいっぱい



つちはし



こそだ いそが まいにち
子育てに忙しい毎日…でも…

かわさきしりつつちはししょうがっこうこうちよう やまもと なお
川崎市立土橋小学校校長 山本 直

25年間同居していた長男が、大阪に転勤となり、先日家を出ていきました。もう大人なのだから、一人暮らしなんて当たり前だろうと頭では思いながらも、きちんと食事はできるだろうか、病気になったらどうしようなどと、いつまでも小学生のように心配してしまう自分がいます。思えば、小学生低学年の頃は、わくわくプラザに迎えに行くのがいつも19時直前で、週のうち何度かは最後のひとりになってしまいました。心の中で「ごめんね」と思いながらも、「早く靴を履いて!」「ごはん早く食べないと明日起きられないよ!」と急かしてしまうほど、余裕のない日々を過ごしていました。いざいなくなると、やはり寂しいもので、あの時、もっといっぱい遊んであげればよかったと思う気持ちもありますが、あの忙しい毎日を一生懸命に過ごしてきたからこそ、今があるのだと自分に言い聞かせつつ、子どもが自立していく姿を素直に喜びたいと思います。

保護者の皆さんは、今まさにその子育てに忙しい時期を過ごされていることだと思います。「早く起きなさい!」「早くご飯を食べてくれないかな」「ランドセルの中身ぐらい自分で用意しなさい」「宿題はやったの?」「なんで昨日のうちにお手紙出さないの?」「お風呂は入った?」「ゲームばかりやっていないで早く寝なさい」…など、私の家では毎日大きな声が飛び交っていましたが、皆さんのご家庭ではいかがでしょうか。ちなみに、大学生の次男は未だに同じことを言われています。ついイライラしてしまうのですが、親子だからこそできる関わり方なのだろうと思い、プラスに考えたいと思います。忙しくても、こうして子どもに、ああだこうだと言えぬことは、後から思えば幸せな時間のひとつであり、よい思い出になるものなのかもしれません。

入学、進学から一ヶ月が経ちました。4月は新しい環境、新しい先生、新しいクラスでの生活となり、子どもたちも保護者の皆さんも目に見えない疲れがたまっていることだと思います。ゴールデンウィークには、少しゆっくりと親子で過ごす時間がとれるといいですね。お仕事等で難しい方もいらっしゃると思いますが、親子でゆっくりと話をしたり、遊んだり、でかけたり、おいしいものを食べたりと、リフレッシュをして、また活気のある学校生活を送ってほしいと思います。